



2022年5月20日  
電源開発株式会社  
ENEOS株式会社  
JX石油開発株式会社

**「令和4年度 国内のCO<sub>2</sub>排出源調査ならびに  
国内の特定地域を対象としたCO<sub>2</sub>回収および輸送に関する調査」の受託について**

電源開発株式会社（代表取締役社長 社長執行役員：渡部 肇史、以下、「Jパワー」）、ENEOS株式会社（代表取締役社長 社長執行役員：齊藤 猛、以下、「ENEOS」）およびJX石油開発株式会社（代表取締役社長 社長執行役員：中原 俊也、以下、「JX石油開発」）は3社共同で、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（理事長：細野 哲弘）より「令和4年度 国内のCO<sub>2</sub>排出源調査ならびに国内の特定地域を対象としたCO<sub>2</sub>回収および輸送に関する調査」を受託しましたので、お知らせいたします。

この調査は、CO<sub>2</sub>の分離・回収、輸送、圧入・貯留からなる具体的なCCS<sup>※1</sup> サプライチェーン構築を検討し、必要な技術やコストなどの整理を目的とするものです。調査ではまず、火力発電所や製油所から排出するガスの量・性状に適したCO<sub>2</sub>分離・回収技術を整理します。次に、回収したCO<sub>2</sub>を貯留地まで輸送するための合理的な方法を検討するとともに、より効率的な輸送を実現するためのハブ&クラスター<sup>※2</sup>の形成についても検討します。

Jパワー、ENEOSおよびJX石油開発は、本調査を通じてCCS サプライチェーンの技術やコストの知見を整理し、さらにカーボンニュートラルに積極的に取り組むさまざまな事業者とも連携しつつ、2030年に国内で初めての本格的なCCSを実装化することを目指します<sup>※3</sup>。

※1 CCS：Carbon dioxide Capture and Storage（CO<sub>2</sub>の回収・貯留）

※2 ハブ&クラスター：複数のCO<sub>2</sub>排出源から一度ハブとなる拠点にCO<sub>2</sub>を集めた上で、CO<sub>2</sub>を輸送・圧入するサプライチェーンの形態

※3 2022年5月10日プレスリリース「エネルギー供給のカーボンニュートラルに向けた共同取り組みについて」参照

[https://www.jpowers.co.jp/news\\_release/2022/05/news220510.html](https://www.jpowers.co.jp/news_release/2022/05/news220510.html)